

# 熊商 蛟黄



こうりょう



## 他人事か？我が事か？

校長 古閑 千尋

昨年12月、県教育委員会から今後の生徒募集の削減計画が発表されました。計画では、令和9年度からの8年間で、県立高校で62学級、生徒数に直すと約2500人分が削減されることとなっています。まずは、来年から再来年までの2年間に10の高校で合計10学級が削減されます。この10校には私の母校も含まれていて、7学級から6学級に削減される予定です。私が高校生の頃には11学級ありましたので、当時からほぼ半分にまで学級が減少したことになります。本校も、この計画期間の間に1学級減の8学級となる予定です。

削減の背景にあるのは少子化の問題です。県内の少子化の進行は深刻で、令和20年度に県内の中学校を卒業する生徒は、現在の生徒数の約3割に当たるおよそ4500人が減少する見込みです。県が計画する生徒募集の削減数である2500人をさらに2000人上回る減少です。

学級減になると、学科やコース等のカリキュラム編成や職員配置数等で見直しを迫られ、学校が持っている学びの力が削られます。同じように社会においても、人口、特に若年者人口が減少すると、産業、経済を中心に社会の活力が失われます。

大きな課題が私たちの目の前をふさいでいます。しかし、その課題は大きくて、私たち一人一人にできることはほとんどありません。さて、だからといって他人事として済ませるのか、それとも我が事として考えるのか。熊本の社会や経済を牽引するビジネスリーダーを育成する熊商で学ぶ私たちは、いったいどうすべきでしょうか。



## ごあいさつ

育友会会長 高橋 由美子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

熊商で過ごした3年間、学業や部活動、資格取得、熊商デパートなどの学校行事、それぞれの場所で努力を重ねてきた日々は、皆さん一人ひとりの確かな力となっています。思うようにいかないことや悩んだ経験も含め、そのすべてが、これからの人生を支える大切な財産です。

卒業後は、進学や就職など新たな道へと歩みを進めていきます。期待と同時に、不安や戸惑いを感じることもあるでしょう。しかし、熊商で培った挑戦する心や、仲間と支え合ってきた経験は、どんな場面でも皆さんの背中を押してくれるはずですよ。

これから先、皆さんの歩む道はそれぞれ違っていても、熊商で過ごした日々が消えることはありません。仲間と笑い合った時間、努力を重ねた経験、支えてくれた人への感謝の気持ちは、きっと人生の節目で皆さんを勇気づけてくれるでしょう。迷った時、立ち止まった時には、熊商での日々を思い出してください。ここで学んだこと、出会った人たちは、いつまでも皆さんの原点であり、応援団ですよ。

そして、どうか覚えておいてください。辛い時や立ち止まりなくなった時は、一人で抱え込まなくていいのです。家族や友人、恩師、そして母校・熊商は、いつでも皆さんを見守り、応援しています。誰かを頼ることは弱さではなく、前へ進むための大切な力です。

「一人では遠くへ行けないが、共に歩めば遠くまで行ける」という言葉があります。皆さんは、創立130周年という節目の年に学び舎を巣立つ、誇りある卒業生です。長い歴史の中で受け継がれてきた熊商の精神を胸に、自分らしく未来を切り拓いてください。皆さんのこれからの歩みが、希望に満ちたものとなることを心より願っています。

## 3学年担任から卒業生へ贈る言葉



3年1組 担任 立山雅浩



3年2組 担任 徳川恵理



3年3組 担任 山之口康晃



3年4組 担任 緒方裕子



3年5組 担任 坂本愛



3年6組 担任 山内一祥



3年7組 担任 折尾恵美



3年8組 担任 浅利竜生



3年9組 担任 古川智久

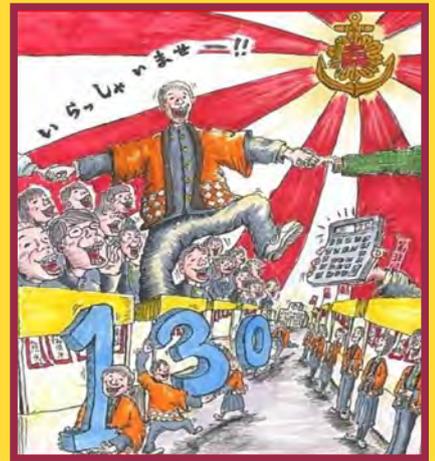


3学年主任 篠原美由紀

# 創立130周年記念 熊商デパート 第38回

創立130周年、新たな一歩をお客様と

令和7年12月6日(土)7日(日)に『第38回熊商デパート』が開催されました。両日ともに天気にも恵まれ来場者は2日間で13,996人と今年も大盛況でした。大きな声とはじけるような笑顔で接客をしていた素晴らしい生徒たち!



クラス一一致団結かっこいい!

堂々とした顔つきに惚れ惚れします★



今年もオープン時間前から多くのお客様が並んでくださいました。



寒い中一生懸命声をだし接客する生徒達素晴らしいかったです。



今年も大人気♡



とても優しい笑顔で  
子供たちも  
楽しんでいました。



お客様への接客  
言葉遣い、商品の説明など  
大人顔負けです。



- どの店舗も、接客や声掛けが素晴らしかったと思います。
- 活気があってとても楽しくお買い物が出来ました。
- どの店舗も丁寧な接客で素晴らしかったです。
- 待ってる間にメニューを渡され、注文と回収を同時に行いレジに進む方式は効率的で良かったです。



## 熊商デパートを終えて



熊商デパート職員実行委員長  
大瀬朝仁

第38回熊商デパートは「創立130周年、新たな一歩をお客様と」をテーマに、新しい出発を祈念して、協力事業所ならびにお客様とのテープカットで幕を開け、約13,000人のお客様をお迎えすることができました。また、蛟竜館では130周年を記念した同窓会企画が実施され、母校を懐かしむ同窓生の姿がありました。

今年度は学年ごとに設定した目標にもとづき協力事業所を分担し、特に2年生は県内を9地域に分けて事業所を選定した結果、熊商デパート全体で51もの事業所に御協力いただきました。また、昨年から行っている生徒職員事前販売やAirレジの業務改善、さらにキャッシュレス決済の一部導入、課題研究の生徒による販売状況確認アプリの開発などICTやデータを活用した新たな取組にも挑戦しました。生徒実行委員会を中心とした熊商デパートでは、多くの生徒が主体的に商業の学びを深めることができました。協力事業所、保護者、同窓会、地域、など関係者の皆様に感謝申し上げます。



生徒実行委員長  
藤井さら

私が今年度に掲げた目標は、「全員で作上げる熊商デパート」です。店長や部長といった役職に就く人だけが努力するのではなく、熊商生一人ひとりがそれぞれの役割を全うしながら、熊商デパートを作り上げることを目指しました。

準備を進めていく中で、販売方法や正しい接客の在り方など、いくつかの壁に直面しました。しかしその都度、より良い販売を目指して生徒同士で何度も話し合いを重ねてきました。

全員が最後まで手を抜くことなく、全力で熊商デパートに向き合ったその姿勢こそが、今年度の熊商デパートをより良いものにしたのだと考えています。

また、今年度のテーマは「創立130周年 新たな一歩をお客様と」でした。このテーマのもと、協力事業所様やお客様への感謝の気持ちを込めて、オープニングセレモニーでは共にテープカットを行いました。テーマにもあるように、お客様や事業所様と共に新たな一歩を踏み出すことができたと考えています。

熊商生の努力の結晶である熊商デパートを、今後ともよろしく願いいたします。

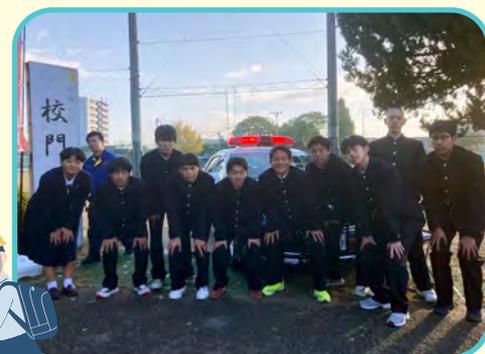
# 育友会活動報告

## 熊本東警察署様より自転車指導

令和7年11月28日(金)

生活指導委員による校門挨拶運動時に令和8年4月からの法改正(自転車の反則金導入)に伴い、熊本東警察署様より自転車指導を行っていただきました。

また熊本県警様より反射材を贈呈いただきました。



## 編集後記

年間を通して子供たちの様子を追ってきましたが、春には大きめの制服を着ていた1年生が12月の熊商デパートでは大人っぽくなった表情でしっかりと接客をし、2年生は一つ学年があがるだけでも頼もしく見え、3年生はすぐにでも社会で通用するのではと思わせる貫禄がありました。

子供たちがしっかりと成長していく姿に触れることができ大変ありがたい時間でした。